

## 原田市太郎先生を偲ぶ

大滝末男

本会の初代会長であった原田市太郎博士(1916~1994)は、享年77才の昨年10月15日に肺炎でご逝去なされたことが、前号で加崎英男会長より報告され、驚愕なされた方も多かったことと存じます。改めて私はここに、謹んで深く哀悼の意を申し上げます。南無阿弥陀仏・合掌。

そもそも本会のスタートは、1978(昭和53)年9月30日(千葉大学で、日本植物学会開催最終日)の夕べに、約10名(原田先生と大滝の二人が発起人)程、『水草同好会』として新発足する会合をもちました。その時の記録を残す意味で、大略の趣旨をまとめますと、下記のようになり、ここに改めてご報告いたします。

### ◎水草同好会の申し合わせ事項

- ①この会は水草に関心をもつ人々の任意団体です。
- ②会の趣旨は水草について様々の知識・体験の交流を図る。その趣旨達成のため、下記のことを行なう。
- ③入会希望の方(資格は問わない)は会費を同封して事務局へ連絡下さればよい。
- ④会の運営は、下記の付項のようにする。

『付項』 A. 水草(みずくさ)とは何か:今のところ、とくに定義はしない。 B. 会費:1~2年の間、1000円とする。会計年度は1月1日から12月31日まで。 C. 会の行うこと: a. 簡易印刷による会報の発行(不定期:少なくとも年1回)。 b. 全体集会を開く(なるべく年1回)。 c. 諸地域で有志会員の発意により、集会・採集・見学会などを行なう。 D. 会の運営:1~2年の間、次のようにする。 d. 代表者(責任者):原田市太郎。 e. 代表者は若干名の相談者(代表者の指名)と討議して、ことを運ぶ。 f. 事務局:〒060 札幌市北10西8 北海道大学理学部 植物学教室 原田市太郎 気付、水草同好会。 以上。

◎会報第2号にむけて。会員は“権利”として、どなたでも、次のような記事で、投稿が出来る。

1. 水草についての感想
2. 水草の伝説・民話・文芸など
3. 水草の利用(衣食住・医療・園芸・生け花など)
4. 水草と環境・生態系(水系保全、自然保護など)
5. 教材としての水草
6. 調査・研究の報告



第4回全国集会(倉敷、1982年)の記念撮影。前列左から4人目が故原田市太郎博士。

7. その他水草についての諸情報・資料などなんでもよい。

◎水草研究の開拓者、三木 茂博士のこと (原田市太郎) ……会報第1号 4～5ページ……内容は省略。なお会報には、原田先生の楽しい投稿が多数あるも割愛。

◎水草研究会第10周年のごあいさつ

名誉会長 原 田 市 太 郎

1, 「水草同好会」として発足, 「水草研究会」と改称し, すでに10年. 会員も増え, 学会の形をとって発展しております. 会報は32号に達しました. 同慶のいたりに存じます. 2, 会則には「本会は水草に関する研究及び知識の普及と, 会員相互の親睦をはかることを目的とする」と, うたっています. (学会などの常套文言ですが.)

3, 自然も人間の営為も, 万事万般うつろい変わるもの. されども, 「水草を楽しむ」という気風は大切にしたいものです.

なお, 本格的な研究論稿や, 学術記事が多くなることは, 当然の深化発展のために, もとより不可欠のこと.

以上, 相まって進むことが望ましいと思います.

『初心忘るべからず, そして展新をノ』

4, 会員皆様方のご協力による, 10年間であります.

大滝会長, 角野事務局長をはじめ, 多くの事務関係の方々の献身的なご努力に, 感謝申し上げます. さらに, 財政的に格別なご援助を賜りました, 多くの方々のご芳志に対し, 厚く御礼申し述べます.

1988 (昭63) 年8月6日

○『写真で見える外来雑草』(畜産技術協会, 1995年3月, 44p+索引, 頒価1,300円)

農耕地で繁茂する外来雑草防除を目的とした種の同定・識別のための写真集とのことだが, 帰化植物を理解するための写真図鑑として一般にも広く活用できる. 取り上げられた種数こそ172種と限られるが, それぞれの種について写真と識別のポイントとなる特徴を中心に短い解説がある. 水辺の植物では, アメリカミソハギ, ヒメアメリカアゼナ, タケトアゼナ(仮称), アメリカタカサブロウなど, 既刊の図鑑にはまだ出ていない種が登場する. これだけでも本書を手元に置く理由になろう. 最後

◎あとがき

〈人生は, まさに奇跡の連続であるといえる.〉

さて, 私は原田先生より3歳年下であるが, 自分の過去を顧みるとき, 自分の生命と運命は, 全くだれにも不明である. このたびの阪神の大震災に, 事務局の研究室の被害は, 幸運にも軽微であった由, 真に有難いことです. お陰で水草研究会第17回全国集会(佐賀)参加申込み書の通知が, 予定通り会員のお手元に届いていると存じます. 故原田市太郎初代会長でスタートした, 水草研究会の全国集会は, お陰さまで本州・四国・北海道に次いで, 本年はいよいよ九州で開催されるまでに発展しました. 会員の皆みな様のお陰であると同時に, 故原田先生もお墓の下で瞬に涙を潤ませ, さぞや感謝感激していることでしょう.

想えば1970年頃?, 浜島繁隆副会長先生を通じ, 当初の私は, 原田先生をご紹介され, 以後度々北大の研究室を訪問するようになり, 沼生目(Helobiae)の5科の水草の染色体その他について, ご指導を頂けるようになった. 強心臓の私は, 大変ご指導を賜ったほかに, いつも札幌市内の行きつけのビヤホールで, 団欒しながら多飲した追憶は, 今でも脳裏から離れない.

原田先生の酒好きは, 会報に「水草とおサケ」[No.22, 1985]の論文にもあるように, こよなくおサケを愛し, 原市酔士(自称)と号したことは, 実に見上げたものと思う. 私は誰よりも公私に互り, ご薫陶とご指導を受けた故原田先生に対し, 敬愛と感謝を捧げ, 厚く御礼を申し上げます. Vielen Dank! 1995.4.10. 記

に本書収載の全種について岡山大・榎本敬氏による種子の拡大写真がまとめられている. たいへん鮮明で美しいだけに, これだけで終わるには惜しい. いずれ記載をつけた雑草種子図鑑にまとめてほしいと願う.

なお, 本書の入手を希望される方は, 倉敷市自然史博物館友の会(郵便振替01200-1-32811)に代金1,300円を送金されたい(送料は無料). 問い合わせは, 岡山大学資源生物科学研究所 榎本敬氏宛てに.

(角野康郎)